令和７年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２５０１９

プロジェクト名　フィリピンの子供たちに楽器とぬいぐるみを届けたい！

プロジェクトの概要

日本大学文理学部学生国際ボランティアグループ Salamat“A“の学生が中心となり、貧困により十分な教育を受けられなかったりクリスマスプレゼントをもらえていなかったりするフィリピンの子供たちに、楽器とぬいぐるみを届けた。この活動は、物品支援を通して音楽に触れる楽しさや贈り物をもらう喜びを感じてもらい、子供たちの豊かな感性や自主性、創造性を育むことを目的としている。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトでは、鍵盤ハーモニカ 100 台•ぬいぐるみ 300 個を送り届けることを目標に、１年を通して物品の回収と配送を行った。物品を集めることに苦戦し発送に至らなかった月もあるが、９月 18 日・11 月 11 日・12 月 23 日の計３回発送することができた。

１回目はバリックバヤンボックス３箱（内訳：鍵盤ハーモニカ 68 台、リコーダー119 本、ぬいぐるみ 63 個、ノート 75 冊）を送ることができた。２回目には、このプロジェクトを行うにあたって長野県松本市でボランティア活動をされている方にお声がけをいただき、物品の多大な寄付をいただくことができた。そしてバリックバヤンボックスを７箱（内訳：鍵盤ハーモニカ 36 台、ぬいぐるみ 660 個、ポロシャツ 25 枚、肌着 90 枚）送ることができた。３回目はバリックバヤンボックスを２箱（内訳：鍵盤ハーモニカ 61 台、ぬいぐるみ 34 個）を送ることができた。計３回の発送で送ることができた物品の内訳は、鍵盤ハーモニカ 165 台・リコーダー119 本・ぬいぐるみ 757 個・ノート 75 冊・ポロシャツ 25 枚・肌着 90 枚であり、目標を大幅に達成することができた。

８月には、実際に現地のボランティア団体の施設や地域の小学校などを訪問する機会があり、私たちの活動がどのように活かされているのかを実感することができた。彼らの SNS では、子供たちが楽器やぬいぐるみを嬉しそうに手にしている様子が見られ、子供たちの健やかな成長に貢献できたと考えている。

今回のプロジェクトでは、サークルメンバーだけでなく他団体の方にもたくさんのご協力をいただいた。これからもこの活動を継続することでその関係を途切れさせないことの重要性に加え、学生が貢献できる規模を大きくしていかなければいけないという反省点も見えた活動であった。

活動写真





